

令和元年度
事業報告書

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

社会福祉法人信達福祉会 法人本部
特別養護老人ホームあつかし荘
総合老人福祉施設梁川ホーム
特別養護老人ホーム・デイサービス川俣ホーム

事業報告書 目次

I 法人本部事業報告	1
1 法人経営の安定	
(1) 法人運営体制の確立.....	1
(2) 人材確保と育成.....	3
II 各施設事業報告	6
1 あつかし荘.....	6
(1) あつかし荘全事業	
(2) 特別養護老人ホームあつかし荘・あつかし荘 短期入所生活介護（ショートステイ）	
2 梁川ホーム.....	8
(1) 梁川ホーム全事業	
(2) 特別養護老人ホーム梁川ホーム	
(3) 梁川ホーム短期入所生活介護（ショートステイ）	
(4) ケアハウス広瀬	
(5) 梁川ホーム通所介護（デイサービスセンター）	
(6) 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所	
(7) 伊達市梁川地域包括支援センター	
3 川俣ホーム.....	12
(1) 川俣ホーム全事業	
(2) 特別養護老人ホーム川俣ホーム・川俣ホーム 短期入所生活介護（ショートステイ）	
(3) 川俣ホーム通所介護（デイサービスセンター）	
III 各施設利用状況等	15
添付資料	17
事業報告の附属明細書.....	17
各施設月別入所・利用状況	

事業報告

令和元年度、社会福祉法人信達福祉会では、法人運営理念「安全・安心・ゆとり」の実現を目標にして、利用者・家族、地域社会に対して最良なサービスを提供できるよう、(1) 法人経営の安定、(2) 地域社会との連携、(3) 尊厳に根ざした介護の実践を事業内容の柱として取り組んできた。

I 本部事業

1 法人経営の安定

(1) 法人運営体制の確立

① 経営組織のガバナンス強化

評議員会4回と理事会6回を開催し、法人及び施設の事業計画・予算・決算の策定・執行、その他重要案件の審議を行った。5月15日には平成30年度の事業執行に係る監事監査を受け、各施設の担当者より事業報告及び決算報告を行い、在宅介護サービスの稼働率向上に向けて一層の取り組みを期待したいという評価及び職員確保や運営管理に対するご意見を頂いた。5月20日の理事会における評議員候補者の推薦を経て、5月27日には評議員選任・解任委員会を開催し評議員の補充選任を行った。また、6月19日の新たな任期の開始となる理事会において理事長、常務理事の選定を行い、併せて法人顧問2名の委嘱を諮った。11月26日、監事2名への業務及び財産の状況説明を行った。

② 経営基盤の安定化

理事長、常務理事、各施設長及び本部事務局長、次長による法人経営会議を毎月開き、各施設の利用状況・収支状況の把握及び経営の課題分析、予算執行や事業計画の進行管理を行った。特に電気使用については昨年度のLED化のあとは、3施設の毎月の推移を比較検討し、電力会社からのデータも取り寄せて分析し、各施設にて節減に努めた。

課長会議においては、各事業所の取得可能な加算の検討を随時進め、体制が整えられたものについては新規に加算を取得した。

③ 本部機能の推進

本部は法人事業を統括し、理事会・評議員会、法人経営会議、法人課長会議、法人事務担当者会議等の開催に係る事務を行い、法人の経営及び運営に関わる事項を協議し、効率的な法人運営に努めた。また、法人の業務及び財務等に関する情報をホームページ等で公表し、事業の透明性の確保に努めた。

人事管理においては採用計画にもとづく求人を行い介護職員の確保に努めた。また、年次有給休暇の時季指定義務の遵守を徹底させたほか、

働き方改革に伴う同一労働同一賃金の趣旨に基づく法改正、民法の一部改正に対応した各規程の一部改正を行った。

▼評議員選任・解任委員会

5月27日（月）に評議員選任・解任委員会を開催し、外部委員2名、監事1名、事務局員1名、理事長、常務理事出席のもと、令和2年度決算にかかる定時評議員会終結の時までを任期とする評議員5名の補充選任を行った。

▼評議員会（4回）

回	日 程	出席評議員	欠席評議員	出席理事	出席監事	議 案
1	令和元年 6月19日 【定時評議員会】	7	2	2	2	評議員の選任報告、平成30年度事業報告、平成30年度決算報告、理事・監事の報酬等について 等
2	9月18日	8	3	2	-	施設管理規程の一部改正、就業規程の一部改正、給与規程の一部改正、あつかし荘短期入所運営規程の一部改正、川俣ホーム短期入所運営規程の一部改正、諸運営規程の一部改正、補正予算 等
3	12月19日	8	2	2	-	給与規程の一部改正、補正予算 等
4	令和2年 3月25日 【書面決議】	10	0	-	-	就業規程の一部改正、給与規程の一部改正、補正予算、令和2年度事業計画、令和2年度当初予算 等

※場所は梁川ホーム家族介護者教育室

▼理事会（6回）

回	日 程	出席理事	出席監事	議 案
1	令和元年 5月20日	8	2	評議員選任候補者の推薦、評議員選任・解任委員会の招集 等
2	5月27日	7	2	事業報告、決算報告、理事・監事の選任、理事・監事の報酬、定時評議員会の招集 等
3	6月19日	8	2	理事長の選定、常務理事の選定、顧問の委嘱
4	9月10日	8	2	施設管理規程の一部改正、就業規程の一部改正、臨時雇用職員管理規程の一部改正、給与規程の一部改正、あつかし荘短期入所運営規程の一部改正、川俣ホーム短期入所運営規程の一部改正、諸運営規程の一部改正、特別養護老人ホームあつかし荘移行時特別積立金及び移行時特別積立資産の取り崩し額の変更、補正予算、契約の締結、評議員会の招集 等
5	12月11日	8	2	給与規程の一部改正、特別養護老人ホーム梁川ホーム修繕費積立金及び修繕費積立資産の積立目的外使用取り崩し額の変更、特別養護老人ホーム川俣ホーム修繕費積立金及び修繕費積立資産・備品等購入積立金及び備品等購入積立資産の積立目的外使用取り

				崩し額の変更、補正予算、契約の締結、評議員会の招集、等
6	令和2年 3月17日 【書面決議】	8	2	就業規程の一部改正、給与規程の一部改正、臨時雇用職員管理規程の一部改正、補正予算、特別養護老人ホームあつかし荘移行時特別積立金及び移行時特別積立資産の取り崩し、特別養護老人ホーム梁川ホーム移行時特別積立金及び移行時特別積立資産の取り崩し、特別養護老人ホーム梁川ホーム修繕費積立金及び修繕費積立資産・備品等購入積立金及び備品等購入積立資産の積立目的外使用取り崩し、ケアハウス広瀬修繕費積立金及び修繕費積立資産の積立目的外使用取り崩し、令和2年度事業計画、令和2年度当初予算、評議員会の招集、等

※場所は、梁川ホーム家族介護者教育室

▼外部会議・研修・セミナー

研修会名	日程	出席者
令和元年度社会福祉法人等代表者会議	令和元年5月30日	岡崎康之理事長
福島県社会福祉協議会社会福祉法人経営者協議会総会・セミナー	令和元年7月3日	岡崎康之理事長
福島県社会福祉協議会社会福祉法人経営者協議会並びに全国社会福祉法人経営者協議会共催セミナー	令和2年1月17日	岡崎康之理事長
伊達市介護保険事業運営委員会	令和元年10月11日	佐藤正紀常務理事
法人役員研修会	令和元年9月10日	理事8名、監事2名
県社協理事研修	令和元年10月29日	渡邊陽子理事、小野宏理事
県社協監事研修	令和元年10月7日	遠藤照男監事、西戸哲夫監事
県社協評議員研修	令和元年8月2日	引地弘一評議員

(2) 人材確保と育成

① 魅力発信と計画的な採用

ホームページや施設広報紙の活用及び高校での説明会参加による直接アピールを行い、信達福祉会の魅力を発信した。採用においては新卒者の採用試験のほか、中途採用に向けた外部主催の就職説明会への参加、信達福祉会独自の職場見学会及び就職説明会を開催し、採用に至ることができた。そのほか人材紹介会社からの紹介による採用を行った。

▼各就職説明会等実績

	日程	主催	名称	来訪者	採用者
1	令和元年 6月11日	福島労働局	福島県大卒等就職面接会	0	0
2	7月7日	福島県社会福祉協議会	第1回福祉の職場合同就職説明会(福島市)	5	1
3	7月20日	信達福祉会	信達福祉会職場見学会(梁川ホーム)	4	2
4	7月25日	信達福祉会	信達福祉会職場見学会(梁川ホーム)	3	1

5	8月8日	福島労働局	ふくしま大卒等合同就職面接会	0	0
6	11月7日	福島労働局	介護就職デイ 福祉関係就職面接会	2	0
7	11月21日	梁川高校	梁川高校進路講話(2年生対象)	3	-
8	2月11日	福島県社会福祉協議会	第2回福祉の職場合同就職説明会(福島市)	2	0
9	2月16日	信達福祉会	信達福祉会就職説明会(各施設)	1	1
10	2月19日	川俣高校	企業説明会(1,2年生対象)	16	-

- ・職員採用試験 9月24日 高卒介護職員 6名合格
- ・ " 10月9日 大卒等介護職員 1名合格
大卒等事務職員 合格者なし
- ・中途採用 あつかし荘4名、梁川ホーム8名、川俣ホーム3名
職員紹介による採用(あつかし荘1名、梁川ホーム1名)
人材紹介による採用(梁川ホーム4名)
- ・定年再任用5名
令和2年度採用予定の新卒者7名に対し、3月に採用前研修として講義及び3施設の介護現場での介護補助の研修を実施した。

② 職員資質の向上

職員一人ひとりがそれぞれのキャリアに応じて能力や資質を高めていけるよう、各段階に応じた研修を行った。新人職員に対しては研修計画に基づいた入職時研修、プリセプターによる指導及び月に一度の集合研修を実施し、高卒職員の確実な成長を促すことができた。また、法人内で介護職員実務者研修を開催し、高卒で資格をもたない職員および臨時職員で希望する者に受講させ、6名が資格を取得した。

高齢者介護には重要となる権利擁護、虐待防止に関わる取組みとしては、各施設においてプライバシー保護、身体拘束廃止・虐待防止研修を開催して職員の意識啓発を図り、外部研修派遣も行い介護現場における利用者の権利擁護に努めたほか、法人苦情解決委員会を7月10日に開催し、平成30年度の苦情受付、事故、身体拘束についての報告に対し、顧問弁護士よりアドバイスを頂いた。

▼法人職員研修

	日程	対象	内容	参加人数
1	令和元年 4月16日	課長・副課長	課長の役割と責任、実務について	6名
2	6月21日 8月23日	事務員・課長・ 係長	決算書の見方について(外部講師) 契約について(外部講師)	30名

3	9月3日	係長	係長の職務と責任、法令・規程の理解、部署運営における役割	17名
4	10月8日	主任	主任の職務と責任、法令・規程の理解、部署運営における役割	17名
5	11月11日	主任・係長	どうすれば真のリーダーになれるか 決め手はセルフ・リーダーシップの発揮にあり (外部講師)	33名
6	令和2年 3月5日	プリセプター	プリセプター制度の理解、制度の役割と課題解決	9名

▼法人本部による管理職派遣研修

研修会名	日程	出席者
初心者のための社会福祉法人会計入門	令和元年5月27日～28日	梁川ホーム副施設長兼施設介護課長
次世代人材育成研修	4月11日、6月12日、8月8日	梁川ホーム副施設長兼施設介護課長
デイサービス収益改善セミナー	7月26日	梁川ホーム在宅介護課長
社会福祉法人会計実務講座入門コース	9月15日～17日	あつかし荘施設介護課長 本部事務局次長
社会福祉法人会計実務講座初級コース	10月21日～23日	本部事務局次長
令和元年度都道府県・指定都市 デイサービスセンター協議会代 表者等研修会 (動画閲覧)	令和2年3月13日	梁川ホーム在宅介護課長 川俣ホーム施設介護課長兼 在宅介護課長 梁川ホーム通所介護係長 川俣ホーム通所介護係長

▼苦情対応、身体拘束、事故発生状況

年度	苦情対応件数	身体拘束件数	事故発生件数
平成30年度	4件	2件	260件
令和元年度	13件	2件	221件
増減	9件	0件	-39件

③ 職員能力の適正な評価と労務管理

平成30年度は、より簡便な方法に見直した人事考課制度を人材育成型の制度に位置づけ、手引きに基づく公正な評価と面談による職員個々の能力開発支援を進めた。

働き方改革に伴う年次有給休暇の年5日の計画的付与について管理簿を用いて対象職員全員にもれなく休暇を取得させた。

メンタルヘルス相談制度を利用した申し出はなかったが、日頃から上司への相談が行われている。ストレスチェックは11月25日～12月2日に実施し、229名が受検したが、高ストレス者に対しては専門医との面接を促し希望者には専門医との面接を実施した。

II 各施設事業報告

1 あつかし荘

(1) あつかし荘全事業

① 安定した施設運営

4月の職員異動により人員配置が充実し、よりよいサービス提供を図る中で、新たに看護体制加算などを算定することができた。あわせて、職員一人ひとりが経営に関する意識をもち経費削減に努めた。また、計画に基づきエアコン、洗濯機・乾燥機を更新整備し、利用者の生活環境を整えた。

② 人材（財）育成

法人キャリアパスに応じた職員の研修派遣や法人役職者研修への参加、施設内研修の開催により、職員個々の学びを促し業務に活かすことができた。

③ 地域社会との連携

夏祭り、敬老会を外部のボランティア団体等の協力を得て実施した。特に、夏祭りはボランティアの協力のもと模擬店などを開き、家族の参加のもと、地域の方々との交流を図る場になり、利用者にも季節を感じてもらうことができた。

桑折町のネットワーク会議が主催した災害対策研修に参加し、地域の実情を把握するとともに、地域とのネットワークを強化することができた。

④ 安全確保の強化

感染症委員会による感染症マニュアルの改訂を行い、全体研修にて職員への周知徹底を図ることができた。標準予防策の徹底、湿度管理など環境整備に努め、利用者の感染症罹患なく経過した。

桑折町や地域の消防団と連携を図り、合同夜間消防訓練を実施し、非常時の対応への備えと職員の防災への意識を高めることができた。また、水害対策のシミュレーションを行い備えることで、台風19号襲来時には利用者にご不便をかけることなく支援を継続することができた。

⑤ 権利擁護

接遇に関する職員へのアンケートや聞き取りを行った結果を踏まえて、権利擁護をテーマとした研修を行った。職員自らが意見を出し合ったことで、利用者の権利擁護を意識した業務遂行を行うことができた。

また、利用者・家族満足度調査において、食事形態に関する質問があったことから、食事内容（形態）を写真に撮り、家族懇談会でパネルにして分かりやすく紹介した。

⑥ 質の高い介護サービスの実践

自立支援に視点を置いた基本ケアを軸としながら、口腔ケアや栄養ケアマネジメントの実施など、多職種によるケアを継続できた。

⑦ ケアマネジメント力の向上

多職種でのカンファレンスを細やかに行い、利用者主体の施設サービス計画を立案し、サービス提供を計画通りに実行することができた。

(2) 特別養護老人ホームあつかし荘

① 自立支援の考え方のもと、利用者一人ひとりの観察を行い、多職種でのカンファレンスを重ね、利用者にあった食事・排泄・入浴のサービス提供を行うことができた。特に、利用者に入浴を楽しんでいただくために、かつて使用していた軽度者向けの浴槽を整備し、1対1の介助で入浴していただき、自立支援につなげることができた。また、施設内外のアクティビティの充実にも力を注ぐことで、利用者の笑顔を多く引き出すことができた。

② 嘱託医・協力医療機関との連携を密に行い、多職種でのカンファレンスにおいて利用者の現病歴・既往歴の把握と日々の観察により、医療面からの視点を介護に取り入れることができ、利用者の健康管理に努めることができた。また、口腔ケアの重要性を多職種で共有し、実行することで肺炎予防に効果が見られた。

③ 利用者とのコミュニケーションにより嗜好を把握し、和・洋・中の食事を組み合わせるなど、メリハリのある食事献立に取り組み、利用者への食の楽しさを提供できた。また、多職種で栄養アセスメントを行い、利用者の自然な排便を促す取り組みにも役立つことができた。

④ 家族や他機関との連絡を密にとり、特養上位待機者の面接をスムーズに行い、退所から入所までの空床期間を減らすよう努めたことで、設計稼働率を達成することができた。

入所に際しては、本人・家族の意向、面接記録、多職種でのカンファレンスをもとに、施設サービス計画書を作成し、多職種での支援ができるようにした。また、家族に対して適宜利用者の状況報告を行うとともに、預かり金の管理などの事務代行を適正に行った。

(3) あつかし荘短期入所生活介護（ショートステイ）

① 自立支援に根ざした基本ケア（食事・排泄・入浴等）の提供を行い、本人・家族、担当ケアマネジャーとの連携を密にし、チームケアによるサポートができた。また、事故や感染症の未然防止に努めながら、利用希望に対しては速やかに対応した結果、安定した利用につながった。

2 梁川ホーム

(1) 梁川ホーム全事業

① 安定した施設運営

各事業において、職員配置や算定要件に応じた介護報酬加算を適宜算定するとともに、事業計画の進捗状況や予算執行状況を施設全体で共有し、職員一人ひとりが経営的視点やコスト意識を持ち経費削減を図ることができた。

② 人材（財）育成

新人研修計画に沿った教育に加え、職位別研修も計画的に実施し、中堅職員のキャリア育成に努めた。また、外部研修への積極的な派遣や、外部講師を招いた研修も複数回行い、職員のやる気の醸成や人材定着を図った。

③ 地域社会との連携

事業所の特色や取り組みについて、広報紙やホームページを活用し地域に対して情報発信をするとともに、認知症カフェや認知症サポーター養成講座の開催により、地域交流の活性化を図った。また、夏祭りや防災炊き出し訓練、その他各種行事においても、地域住民やボランティアの方々との連携、協力のもと開催できた。

④ 安全確保の強化

各種災害を想定した防災訓練を月1回実施し、特に台風19号の際には市の要請により福祉避難所として避難者の受け入れを行うとともに、デイサービス、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等においては利用者の安否確認や在宅介護サービスの調整を行った。また、感染症対策や施設内安全点検などについても、リスクマネジメントの考えを施設全体で共有し、利用者はもちろん職員の安全確保に努めるとともに、介護事故については「ヒヤリ・はっと」報告の活用により、再発防止と未然防止の徹底を図った。

⑤ 権利擁護

伊達市介護相談員による施設訪問を通じて外部からの評価を受けたほか、全事業において利用者・家族満足度調査を行い、施設および事業所に対する意見や要望を把握し、そこから課題を抽出し改善に努めた。また、身体拘束廃止に関する外部研修派遣及び研修報告の実施、権利擁護に対する全体研修会等により、職員の意識向上に努めた。

⑥ 質の高い介護サービスの実践

利用者の状態に合わせた計画的な生活リハビリの実施や、認知症の進行緩和を目的とした調理機能訓練を継続した。また、言語機能ロボットやレクリエーション機器の活用などにより、利用者が楽しみとやりがい

を持ちながら効果的に身体機能や生活機能の維持・向上につなげることができた。

⑦ ケアマネジメント力の向上

各専門職別の研修会・勉強会への参加により幅広い知識の習得に努め、利用者本位のサービス提供と計画立案を行った。また、関係各機関および他事業所との情報交換等により、地域福祉のニーズ把握に努め、利用者に応じた総合的なサービス提供を行った。

(2) 特別養護老人ホーム梁川ホーム

- ① 利用者一人ひとりが自分の望む生活を送れるよう、職員のコミュニケーション力の向上を図った。また、利用者との関わりを多く持つことで、利用者の要望や思いを理解し、そのことをレクリエーションやアクティビティに結び付け、楽しみのある生活を提供することができた。
- ② 利用者の日々の健康状態を把握し、協力病院医師への報告を行い、指示内容を各職種へ伝達することで、心身状態変化の早期発見、対応につなげることができた。また、インフルエンザ発症は利用者1名にとどまり、感染症予防対策の徹底により蔓延を防ぐことができた。
- ③ 給食業務委託業者による、オープン用調理マニュアル作成等の給食サービスの工夫と、ホーム側の最新厨房設備（スチームコンベクションオープン、温冷配膳車、シャリ弁ロボ）を取り入れることで、作業時間の短縮と効率化が図られ、あわせて利用者の食事満足度、健康状態の維持・向上につながった。また、非常時に備え飲料水等の非常食の備蓄を見直した。昨年の台風19号による災害においては、被災した施設を救援するため、保有している備蓄飲料水の提供支援を行うことができた。
- ④ 個別・集団リハビリ対象者数及び実施機会を増やし、多職種が密に連携したことで、ベッド上のポジショニングや、車いすのシーティング等の環境調整に重点を置いた機能訓練ができた。また、褥瘡予防対策委員会と連携し褥瘡の治癒、予防・改善につなげることができた。栄養ケア・マネジメントの再開により、生活状況や身体状態を把握する範囲が広がったことで、より生活に寄り添った機能訓練を提供することができた。
- ⑤ 家族へ連絡をする際は、わかりやすい説明や丁寧な言葉づかいを徹底し、用件に応じ各職種から連絡をすることで、適切に伝えることができた。看取り介護に際しては、その都度利用者・家族の意向を伺い、カンファレンスで希望や想いを共有し、その方らしい最期を迎えられるよう進めることができた。

(3) 梁川ホーム短期入所生活介護（ショートステイ）

- ① 在宅介護における短期入所の役割を自覚し、常に関係各事業所との連携を図り、利用希望に対して迅速な面接調整を行うとともに、利用者・家族のニーズ把握に努めることで、安心して利用を継続して頂けるよう支援した。
- ② 年間を通して家族や担当ケアマネジャーと連携を図り、利用前に在宅生活の様子や体調管理等について連絡を密にすることで、利用中の体調不良や感染症予防に努め、あわせて感染症の蔓延防止を図ることができた。
- ③ 利用者に対して、可能な限り同じ環境でのサービスを提供することで、安心して利用して頂くとともに、健康管理や機能訓練の実施による心身機能の維持や、福祉用具の活用等による安全面の配慮を行い、ひいては家族の負担軽減につなげることができた。

(4) ケアハウス広瀬

- ① 入居者の心身状況、生活歴、介護度などを踏まえつつ、持てる力に応じた自立した生活が継続できるよう、多職種協働でサービスの提供を行った。健康状態についても服薬状況、通院状況を把握し、体調変化に対する早期発見・対応に努めるとともに、適宜病院受診、往診の援助を行った。
- ② 入居者に安全に過ごして頂けるよう、「ヒヤリ・はっと」報告書・事故報告書を活用して情報共有し、あわせて危険予知訓練を取り入れることで、職員一人ひとりの危険に対して気付く力を高めた。また、生活環境や介助方法について検討を図り、事故の未然防止につなげることができた。
- ③ 適切な栄養を食事で摂ることができるよう、摂取量や摂取動作を確認するとともに、適時多職種で検討し個別アプローチを行った。また、食を通した楽しさを提供するため、毎食の献立案内や各種行事食の提供、調理機能訓練を継続実施し、入居者同士の親睦も図ることができた。
- ④ 野菜の栽培や収穫作業、外部ボランティアの協力によるクラブ活動、定期的な運動レクリエーションの実施等により、身体機能の維持や認知症予防を図ることができた。

(5) 梁川ホーム通所介護（デイサービスセンター）

- ① 職員同士が「報・連・相」を意識し、利用者一人ひとりの情報を適切に共有することで、利用者本位の介護計画を立案し、自立支援に向けたサービスを多職種が連携して提供することができた。

- ② 利用者個々のニーズや、日常生活の継続を意識した新しいレクリエーションを取り入れるとともに、認知症の進行緩和を目的とした調理機能訓練も継続実施し、楽しみながらも心身に働きかけるプログラムを行うことができた。
- ③ 利用者の状況に応じた個別の計画を作成し、関節可動域訓練や立ち上がり訓練を行うことで生活動作の安定を図り、在宅での生活継続を支援した。
- ④ 地域密着型サービス運営推進会議の開催や、毎月のデイサービス便りの配布を通じて、利用者ご家族・地域住民に対して情報発信するとともに、関係各事業所に対しても積極的に利用状況を公開し、連携を図ることができた。

(6) 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所

- ① 毎週1回ケース検討会を開催し、サービス提供に関しての情報共有や、留意事項の伝達などを意識的に行った。また、伊達市内の居宅介護支援事業所と連携し合同での勉強会や事例検討会を開催し、特定事業所としての役割を担うことができた。
- ② 多様なケース対応やターミナル期の利用者に対して、医療機関及びサービス事業所と連携してケアチームを編成し、在宅生活を支援した。さらに、利用終了時の振り返りを会議内で報告することにより、ケース対応力を高めることができた。
- ③ 梁川地区の居宅介護支援事業所と共同で認知症カフェを開催した。地域住民と一緒に活動することで、認知症に対する理解をより深めてもらうことができた。
- ④ 地域包括ケアシステムの実現に向けて、地域包括支援センターや行政との連携を図り、また自立支援型地域ケア会議へ参加することで、自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高め、地域貢献を図ることができた。

(7) 伊達市梁川地域包括支援センター

- ① 地域の高齢者ができる限り住み慣れた地域で、安心して自立した生活を継続できるよう行政、医療機関、事業所との連携を図りながら、介護予防ケアマネジメントを行なった。
- ② 包括的、継続的ケアマネジメントを推進するため、自立支援型地域ケア会議による高齢者個人の支援と、それを支える介護予防ケアマネジメントの質の向上を図るとともに、地域の介護支援専門員相互の情報交換や勉強会の開催、民生委員などとの交流の場を設け、関係機関との連携

強化に努めた。

- ③ 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、認知症カフェや認知症サポーター養成講座の開催、認知症初期集中支援チーム活動により、地域ぐるみでの認知症への理解や啓発促進を図った。
- ④ 消費者被害の相談があった際には、伊達市消費者生活センターや警察等関係機関と連携して対応し、虐待疑いの通報があった場合は速やかに伊達市へ報告するとともに、ケース会議や保護検討などの対応を行った。
- ⑤ 市町村の関係機関や、他の地域包括支援センター等と会議・研修会等を定期的に行い相互の連携を密にすることで、情報の共有や地域の実態把握に努めることができた。

3 川俣ホーム

(1) 川俣ホーム全事業

① 安定した施設運営

各事業における事業計画と予算の執行状況を毎月確認するとともに、突発的な修繕に対しても、経営シミュレーションに基づき、専門的な立場からの意見も採り入れて、コスト意識をもって経費削減に努めた。

② 人材（財）育成

法人キャリアパス要件に基づいた研修計画のもと、法人新人研修、役職者研修を実施した。特に経験10年前後の中堅職員の育成に力を入れ、外部研修へ積極的に派遣したほか、外部講師を招いての内部研修も併せて行い、職位と職責の意識付けとスキルアップのできる体制づくりに努めた。また、労務管理上の制度の内容を必要に応じて職員個々に説明し、働きやすい職場づくり環境に努めた。

③ 地域社会との連携

開かれた施設として、ボランティアや実習生等の積極的な受入れや認知症対応型デイサービスの運営推進会議の開催、定期的な広報紙発行により情報の発信に努めた。また、居宅ケアマネジャーを対象に施設見学会を実施し、施設の概要等の説明のほか、提供している食事を実際に試食して頂くなど、より多くの方々に施設を知って頂く機会を持ち、地域の方々との交流につなげることができた。

④ 安全確保の強化

年間計画に基づいた防火・防災訓練の実施を通して、職員一人ひとりが自ら動ける安全管理体制を構築することができた。感染症予防においては、具体的な対策を演習を通じて体得した結果、インフルエンザ発症を予防することができ、リスクマネジメント活動では骨折事故など重大介護事故を減らすことができた。

⑤ 権利擁護

苦情を受け付けた際は、苦情解決制度に基づき速やかに対応し、第三者委員の助言等による改善に取り組み、サービスの質の向上と信頼回復に努めた。また、各事業において満足度調査を実施し、出された課題を全職員に周知し改善を図った。

⑥ 質の高いサービスの実践

身体拘束廃止委員会による研修を通して、身体拘束や高齢者虐待は、日頃の不適切ケアの中で発生していることを全職員が学び、適切なケアの実践につなげることができた。また、認知症介護においては、外部講師による研修で理解を深め、また、アセスメントシートを活用し、認知症の症状に応じた利用者本位の介護に取り組んだ。

⑦ ケアマネジメント力の向上

関係各事業所との情報交換や、各種研修会への参加により専門的知識を深め、各部署それぞれの立場の専門性を発揮し、互いに情報を共有しながら、利用者本位の介護サービス計画の立案及びサービスの提供に努めた。

(2) 特別養護老人ホーム川俣ホーム

① 利用者一人ひとりの状態にあった除圧方法や排泄介助時のスキンケア、車椅子での姿勢保持についてなど、多職種協働で専門的立場から褥瘡対策に取り組んだ結果、予防及び状態の維持に効果が見られた。

また、食事が十分にとれない利用者に対しては、プロテインパウダーで栄養素を補うなど、職員で情報を共有し統一した対応を徹底したことにより、短期間で褥瘡の状態改善へとつなげることができた。

② 看取り介護を行なうに際し、その方のこれまでの生活をご家族と共に振り返り、嗜好品や愛用品など五感からのアプローチを行い、利用者をご家族に寄り添った介護を職員一人ひとりが実践することができた。

③ 給食業務委託業者と連携し、郷土料理や季節感あふれる食材を取り入れた献立作成など、利用者に喜ばれる食事の提供に努めた。また、栄養アセスメントにおいて、利用者の嗜好をデータ化し、健康状態を確認をしながら、個別の要望に対して柔軟に対応した。

④ 誤嚥性肺炎による入院をなくすために、看護・介護職員全員が外部講師による口腔ケアと誤嚥性肺炎予防研修を受講し、個別のケア方法を実践したことで予防に努めることができた。また、自然な排便への取り組みの一つとして、オリゴ糖の効果についての勉強会を開催し、排便状況の改善につなげた。

⑤ 適正な入所計画に基づき、常時3～4人程度の上位待機者の実態調査

の実施、ショートステイの利用をすすめるなど特養の空床発生に備えた結果、新規入所に至るまでを平均4.6日に対応することができた。また、実態調査後から入所までの間においても、滞在先の施設や病院の関係者、ご家族と連絡を密にし、信頼関係の醸成に努めたほか、措置の利用者も受け入れ、社会的な要請にも柔軟に対応した。

(3) 川俣ホーム短期入所介護（ショートステイ）

- ① 利用者が在宅での生活を維持、継続し、さらにご家族の負担軽減をはかることができるよう、細やかに利用中の様子報告を行った。また、面接やカンファレンス開催においては関係各事業所との情報共有を行い、安心してご利用頂けるよう努めた。
- ② 利用者の楽しみにされていることや生活習慣については、面接などで情報を共有し、利用時には例えばレクリエーションに取り入れるなど工夫に努めた。また、在宅時と施設利用時の環境の違いから起こりうるリスクについて、ご家族への事前の丁寧な説明と予防策を実施することにより、継続的な利用につなげることができた。

(4) 川俣ホーム通所介護（デイサービスセンター）

- ① 楽しみながら身体を動かすことで、今できていることが継続できるよう、日常生活動作訓練に重点をおき、週に2種類のレクリエーションを準備し、その目的と効果の説明を行いながら取り組んだ。特に、認知症予防を目的とした拮抗体操（両手足で左右別々の動きをする運動）と、下肢筋力維持のために車椅子は移動時のみの使用とするなど、日常生活動作の維持と向上に努めた。
- ② 利用者の状態変化に伴った介護の方法に関する電話相談に対して、利用者家族向けの「個別介護技術教室」を継続し、家庭でも行なえる介護技術をお伝えするなど、ご家族の不安な気持ちに寄り添う支援を行った。
- ③ 月1回の調理クラブの開催及びケアマネジャー対象の施設見学会の実施により、デイサービスセンターについてよく知って頂くことができ、その後の相談件数及び利用開始につながった。また、地域との関わりのひとつとして、町主催のオレンジカフェに参加し、ご家族の気持ちに共感し、また理解することができ、利用者に対するケアの向上に反映することができた。

Ⅲ 各施設利用状況等

特別養護老人ホーム

事業所名	定員 (人)	延べ利用人数(人)			ベッド稼働率(%)			利用者平均要介護度			営業日数(日)		
		元年度	30年度	前年度比	元年度	30年度	前年度比	元年度	30年度	前年度比	元年度	30年度	前年度比
あつかし荘	62	22,774	19,803	2,971	99.4	96.2	3.2	4.12	4.23	-0.11	366	365	1
梁川ホーム	80	29,036	28,887	149	99.2	98.9	0.3	4.20	4.31	-0.11	366	365	1
川俣ホーム	60	21,477	21,622	-145	97.8	98.7	-0.9	4.25	4.23	0.02	366	365	1
法人計	202	73,287	70,312	2,975	98.8	97.9	0.9	4.19	4.26	-0.07			

※あつかし荘はR1.5.12まで措置入所のため定員63名、R1.9.27より措置入所のため定員63名

ショートステイ ※介護予防含む

事業所名	定員 (人)	延べ利用人数(人)			ベッド稼働率(%)			1日平均利用者数(人)			営業日数(日)		
		元年度	30年度	前年度比	元年度	30年度	前年度比	元年度	30年度	前年度比	元年度	30年度	前年度比
あつかし荘	10	2,757	1,156	1,601	80.4	56.9	23.5	7.5	3.2	4.3	366	365	1
梁川ホーム	20	5,968	6,229	-261	81.5	86.3	-4.8	16.3	17.3	-1.0	366	365	1
川俣ホーム	20	4,845	5,658	-813	66.2	77.5	-11.3	13.2	15.5	-2.3	366	365	1
法人計	50	13,570	13,043	527	76.0	73.6	2.4	37.0	36.0	1.0			

※あつかし荘はR1.5.12まで措置入所のため定員9名、R1.9.27より措置入所のため定員9人。

デイサービスセンター ※介護予防含む

事業所名	定員 (人)	延べ利用人数(人)			稼働率(%)			1日平均利用者数(人)			開所日数(日)		
		元年度	30年度	前年度比	元年度	30年度	前年度比	元年度	30年度	前年度比	元年度	30年度	前年度比
梁川ホームⅠ型	25	6,507	6,645	-138	84.2	86.3	-2.1	21.1	21.6	-0.5	309	308	-1
Ⅱ型	12	2,583	2,618	-35	69.7	70.8	-1.1	8.4	8.5	-0.1	309	308	-1
川俣ホームⅠ型	20	4,328	4,176	152	70.0	67.8	2.2	14.0	13.6	0.4	309	308	-1
Ⅱ型	12	2,008	2,394	-386	54.2	64.8	-10.6	6.5	7.8	-1.3	309	308	-1
法人計	69	15,426	15,833	-407	72.4	74.5	-2.1	49.9	51.4	-1.5			

ケアハウス

事業所名	定員 (人)	月初日平均入居者数(人)			稼働率(%)			営業日数(日)		
		元年度	30年度	前年度比	元年度	30年度	前年度比	元年度	30年度	前年度比
ケアハウス広瀬	30	27.9	27.9	0.0	93.0	93.0	0.0	366	365	1
法人計	30	27.9	27.9	0.0	93.0	93.0	0.0			

居宅介護支援事業所

事業所名	要介護認定調査(件)			居宅サービス計画作成の相談依頼(件)			居宅サービス計画作成(件)		
	元年度	30年度	前年度比	元年度	30年度	前年度比	元年度	30年度	前年度比
梁川ホーム	191	126	65	2,374	2,329	45	2,139	2,179	-40
法人計	191	126	65	2,374	2,329	45	2,139	2,179	-40

地域包括支援センター

事業所名	相談延べ件数(件)			訪問件数(件)			介護予防サービス計画作成(件)			地域講座(件)		
	元年度	30年度	前年度比	元年度	30年度	前年度比	元年度	30年度	前年度比	元年度	30年度	前年度比
伊達市梁川地域包括支援センター	3,815	2,697	-	1,301	1,090	211	2,508	2,663	-155	25	28	-3
法人計	3,815	2,697	-	1,301	1,090	211	2,508	2,663	-155	25	28	-3

※相談延べ件数は、平成30年度までは利用者からの相談ごとに1件とカウントしていたが、令和元年度からは市の方針により、関係諸機関等と連絡したのもも含めてすべてをカウントする方式をとったため比較ができない。

事業報告の附属明細書

令和元年度 あつきし荘市町村別・月別利用状況

特養

市町村別 月別		福島市		伊達市				桑折町	国見町	川俣町	その他	計	月内の異動		
		福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町						旧月舘町	入所	退所
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
平成31年	4月	4	0	3	7	10	2	2	20	15	0	0	63	2	4
令和元年	5月	4	0	3	8	9	1	1	20	15	0	0	61	3	1
	6月	4	0	2	9	9	1	1	21	15	0	0	62	0	0
	7月	4	0	2	9	9	1	1	21	15	0	0	62	0	1
	8月	4	0	1	9	9	1	1	21	15	0	0	61	2	1
	9月	4	0	1	10	8	1	1	22	15	0	1	63	3	2
	10月	4	0	1	10	8	1	1	22	15	0	1	63	0	1
	11月	4	0	1	9	8	1	1	22	15	0	1	62	2	1
	12月	4	0	1	10	8	1	0	23	15	0	1	63	0	0
令和2年	1月	4	0	1	10	8	1	0	23	15	0	1	63	1	1
	2月	4	0	1	9	8	1	0	23	16	0	1	63	2	2
	3月	4	0	1	9	9	1	0	21	17	0	1	63	0	1
合計		48	0	18	109	103	13	9	259	183	0	7	749	15	15

※月初日の入所者数 令和元年5月12日措置廃止1名、令和元年9月27日より措置入所1名

短期入所生活介護

市町村別 月別		福島市		伊達市				桑折町	国見町	川俣町	その他	合計	1日平均人数	ベッド稼働率	
		福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町								旧月舘町
		(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(人)	(%)	
平成31年	4月	0	0	0	18	0	0	0	68	100	0	0	186	6.2	68.9%
令和元年	5月	0	0	0	23	3	0	0	77	66	0	0	169	5.5	56.7%
	6月	0	0	0	18	10	0	0	112	61	0	0	201	6.7	67.0%
	7月	0	0	0	14	0	0	0	143	55	0	0	212	6.8	68.4%
	8月	0	0	0	36	0	0	0	180	40	0	0	256	8.3	82.6%
	9月	0	0	13	17	0	0	0	198	36	0	0	264	8.8	89.2%
	10月	0	0	0	16	0	0	0	218	16	0	0	250	8.1	89.6%
	11月	0	0	10	28	13	0	0	123	40	0	0	214	7.1	79.3%
	12月	0	0	31	44	0	0	0	123	38	0	0	236	7.6	84.6%
令和2年	1月	0	0	2	37	0	0	0	168	56	0	0	263	8.5	94.3%
	2月	0	0	6	22	0	0	0	181	35	0	0	244	8.4	93.5%
	3月	0	0	11	42	0	0	0	175	34	0	0	262	8.5	93.9%
合計		0	0	73	315	26	0	0	1766	577	0	0	2757	7.5	80.4%

事業報告の附属明細書

令和元年度 梁川ホーム市町村別・月別利用状況

特養

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	計	月内の異動	
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町						入所	退所
平成31年 4月	(人) 1	(人) 0	(人) 0	(人) 42	(人) 12	(人) 11	(人) 4	(人) 4	(人) 4	(人) 1	(人) 0	(人) 79	(人) 3	(人) 2
令和元年 5月	1	0	0	43	12	11	4	4	4	1	0	80	1	2
6月	1	0	0	43	11	10	4	5	4	1	0	79	2	2
7月	1	0	0	43	11	10	3	6	4	1	0	79	2	3
8月	1	0	0	42	12	9	3	6	4	1	0	78	4	3
9月	1	0	0	43	11	10	3	6	4	1	0	79	1	0
10月	1	0	0	44	11	10	3	6	4	1	0	80	1	1
11月	1	0	0	43	12	10	3	6	4	1	0	80	0	1
12月	1	0	0	43	12	10	3	6	4	1	0	80	2	1
令和2年 1月	1	0	0	43	12	10	3	6	4	1	0	80	2	2
2月	2	0	0	43	11	10	3	6	4	1	0	80	0	1
3月	2	0	0	42	11	10	3	6	4	1	0	79	3	2
合計	14	0	0	514	138	121	39	67	48	12	0	953	21	20

※月初日の入所者数

短期入所生活介護

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	合計	1日平均人数	ベッド稼働率
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町					延日数		
平成31年 4月	(日) 0	(日) 0	(日) 0	(日) 407	(日) 25	(日) 38	(日) 0	(日) 0	(日) 18	(日) 0	(日) 3	(日) 491	(人) 16.4	(%) 81.8
令和元年 5月	0	0	0	406	26	24	0	0	20	0	2	478	15.4	77.1
6月	0	0	0	411	30	13	0	0	17	0	2	473	15.8	78.8
7月	0	0	0	420	29	16	0	0	19	0	2	486	15.7	78.4
8月	0	0	0	451	35	17	0	0	16	0	0	519	16.7	83.7
9月	0	0	0	431	33	13	0	0	19	0	3	499	16.6	83.2
10月	0	0	0	487	39	21	0	0	19	0	2	568	18.3	91.6
11月	0	0	0	461	37	52	0	0	16	0	2	568	18.9	94.7
12月	0	0	0	432	50	26	0	0	22	0	2	532	17.2	85.8
令和2年 1月	0	0	0	341	41	28	0	0	12	0	2	424	13.7	68.4
2月	0	0	0	381	39	24	0	0	20	0	2	466	16.1	80.3
3月	0	0	0	380	58	12	0	0	12	0	2	464	15.0	74.8
合計	0	0	0	5008	442	284	0	0	210	0	24	5968	16.3	81.5

事業報告の附属明細書

令和元年度 川俣ホーム市町村別・月別利用状況

特養

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	計	月内の異動	
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町						入所	退所
平成31年 4月	(人) 2	(人) 4	(人) 1	(人) 0	(人) 1	(人) 3	(人) 8	(人) 0	(人) 0	(人) 39	(人) 2	(人) 60	(人) 0	(人) 0
令和元年 5月	2	4	1	0	1	3	8	0	0	39	2	60	1	2
6月	2	4	1	0	1	3	7	0	0	39	2	59	1	0
7月	2	5	1	0	1	3	7	0	0	39	2	60	1	1
8月	2	4	1	0	1	3	7	0	0	40	2	60	1	1
9月	2	4	1	0	1	3	6	0	0	41	2	60	2	3
10月	2	4	1	1	2	3	6	0	0	38	2	59	1	0
11月	3	4	1	1	2	3	6	0	0	38	2	60	2	2
12月	4	4	1	1	2	2	6	0	0	38	2	60	2	3
令和2年 1月	4	4	1	1	2	2	5	0	0	38	2	59	1	0
2月	4	4	1	1	2	2	5	0	1	38	2	60	1	1
3月	4	3	1	1	2	2	5	0	1	39	2	60	2	1
合計	33	48	12	6	18	32	76	0	2	466	24	717	15	14

※月初日の入所者数

短期入所生活介護

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	合計	1日平均人数	ベッド稼働率
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町					延日数		
平成31年 4月	(日) 0	(日) 29	(日) 0	(日) 0	(日) 0	(日) 0	(日) 7	(日) 0	(日) 0	(日) 354	(日) 0	(日) 390	(人) 13.0	(%) 65.0
令和元年 5月	0	58	0	0	0	0	8	0	0	361	0	427	13.8	68.9
6月	0	30	0	0	0	0	8	0	0	380	0	418	13.9	69.7
7月	0	37	0	0	0	0	12	0	0	375	0	424	13.7	68.4
8月	0	46	0	0	0	0	6	0	0	349	0	401	12.9	64.7
9月	0	32	0	0	0	0	9	0	0	379	0	420	14.0	70.0
10月	0	40	0	0	0	0	6	0	0	418	0	464	15.0	74.8
11月	0	33	0	0	0	0	6	0	0	376	0	415	13.8	69.2
12月	0	8	0	0	2	0	8	0	0	389	0	407	13.1	65.6
令和2年 1月	0	7	0	0	12	0	6	0	0	351	0	376	12.1	60.6
2月	0	4	0	0	4	12	6	0	0	317	0	343	11.8	59.1
3月	0	7	0	0	10	0	6	0	0	337	0	360	11.6	58.1
合計	0	331	0	0	28	12	88	0	0	4386	0	4845	13.2	66.2